

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

## 各論演習 19-1

問1)

当社の次の資料にもとづいて、当社（星稜製作所株）の下記の設問に答えなさい。

(資料)

1. 製品単位あたり原価	
直接材料費	160円
加工費	<u>300円</u>
合計	460円

(注) 加工費は生産量を基準として製品に予定配賦している。1期間における加工費の予算額は2,400,000円（うち固定費は1,360,000円）であり、正常生産量は8,000個である。

- 製品単位あたり売価 580円
- 販売費及び一般管理費（すべて固定費） 500,000円
- 生産・販売量（単位：個）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
期首在庫量	-	-	600	100	-
当期生産量	8,000	8,500	7,600	8,000	32,100
当期販売量	8,000	7,900	8,100	8,100	32,100
期末在庫量	-	600	100	-	-

(注) 期首・期末仕掛品は存在しないものとする。

- 固定加工費の実際発生額は1,360,000円であり、原価差額は操業度差異のみが生じる。なお、操業度差異は各期の売上原価に賦課する。
- 【設問1】 全部実際原価計算による損益計算書を作成しなさい。
- 【設問2】 直接実際原価計算による損益計算書を作成しなさい。
- 【設問3】 全部実際原価計算と直接実際原価計算による営業利益の差を計算式で示しなさい。

解1)

【設問1】 全部実際原価計算による損益計算書 (単位:円)

	第1期	第2期	第3期	第4期
売上高				
売上原価				
売上原価				
操業度差異				
小計				
売上総利益				
販売費及び一般管理費				
営業利益				

【設問2】 直接実際原価計算による損益計算書 (単位:円)

	第1期	第2期	第3期	第4期
売上高				
変動売上原価				
貢献利益				
固定費				
製造固定費				
販売費及び一般管理費				
営業利益				

【設問3】 全部実際原価計算と直接実際原価計算による営業利益の差

第1期:  円/個 × (  個 -  個 ) =  円

第2期:  円/個 × (  個 -  個 ) =  円

第3期:  円/個 × (  個 -  個 ) =  円

第4期:  円/個 × (  個 -  個 ) =  円